

# Face 顔



**Profile**  
 おかだ・みさお 下五箇出身／館林市緑町の「とんかつ福よし」で総料理長を務める。趣味はスキー・フライフィッシング・野菜作り。出勤前に毎日南地区にある畑に通い、15種類もの野菜を育てる。

## 学生時代通ったお店で修行

岡田さんは館林市緑町にある『とんかつ福よし』の総料理長を務めています。

高校卒業後は調理師学校に進学しました。岡田さんの生家では商売を営んでいたのですが、小さい頃から家族のご飯番を任されていたそうです。料理人を志したのはそのことが関係しているのかもしれないと話してくれました。

東京都葛飾区に岡田さんが調理師学校在学中にとんかつを食べに通っていたお店がありました。休憩時間にはそこに行くのが楽しみで仕方がなかったそうです。

岡田さんは卒業後、迷わずそのお店に就職をしました。そのお店で、天ぶらの名人として有名な板前さんに基礎の

## 学生時代に食べた とんかつの味が忘れられなくて

岡田 操さん



## 今のお店が先月で30周年

岡田さんは今から37年前、修行していたお店に、のれん分けの許可を得て館林市にお店を開きました。その7年後には現在の場所にお店を移し、平成25年12月でちょうど30周年になるそうです。

30年お店をやってきてうれ

しかったことを聞いてみると、従業員の皆さんが長く勤めてくれたること話してくれました。岡田さんのお店では一番新しい従業員のかわりでも15年間勤めているそうです。従業員の間がよい事です。本場にうれいそうです。その秘訣を伺ってみました。その従業員の皆さんが食べるお昼のまかない料理約16人分は毎日岡田さんが作るそうです。もしかするとこれが理由かもしれないと笑顔で話してくれました。

## 安全安心な料理を安価に

岡田さんはなるべく顔が見える生産者から食材を仕入れるようにし、自家製の野菜も15種類ほど栽培しています。ドレッシングやマヨネーズも手作りします。今の時代、食品に関することが問題になっていきますが、岡田さんは手間ひまがかかっても方針を変えずに、手作りを重視し続けたいそうです。

「飲食業を営む以上、信用を失わないように事故を起こ

さないことが何よりも大事」と厨房の掃除も入念です。「これからもお客様へのおもてなしの心を大切に、手作り感のある、安全安心でおいしい料理を安く提供していきたい」と、終始笑顔で話してくれました。

■レポーター  
 広報編集委員 福富 久枝



東洋大学 生命科学部  
 天野 千恵 助教



■主な研究テーマ  
 ・水圏微生物生態学  
 ・海洋微生物学

## 水源地と水環境の改善に取り組む

両親の影響もあり、幼い頃から自然や野生動物に触れることが好きだったという天野助教は、現在、板倉キャンパスで教鞭をとりながら、水環境について研究しています。

天野助教は学生時代、環境問題に関心をもち、廃水を自然のレベルにまで浄化したいとの思いから研究者の道に進まれました。最初はアオコ（藻類）の大量増殖による水質汚濁が顕著なダムや湖など、水源地と水環境の改善を目的とした研究に取り組まれたそうです。

## 海洋で微生物の炭素循環を調査

近年、地球温暖化の進行により地球上の物質循環の均衡が崩れる可能性が指摘され、大気や陸域のみならず、海洋・湖沼においても詳細な炭素循環プロセスの把握が求められています。海洋にも二酸化炭素といった温室効果ガスを取り込む独立栄養の微生物がいることが分かっており、天野助教は北極海での海洋微生物の生態学的研究を行う調査隊に参加されました。

2000年代以降には海洋微生物も種類ごとに顕微鏡で光らせることができるようになり、化学分析と生物分析の技術革新によって種類ごとの数が分かり、大きな発展につながりました。

今後は海外での海洋調査研究も予定しており、「将来的には、自分が算出した数値がさまざまなモデルに組み込まれ、水環境の改善に貢献できたら」と抱負を語ってくれました。

■レポーター 広報編集委員 室木 江里子

## 水環境の微生物から物質循環を評価



みんなの

はがき・電話・FAX・Eメールでのご意見、ご質問、感想など「みんなの声」をお待ちしています！

**Q** 粗大ごみの出し方について

調理器具、鉄パイプ、自転車、小型家電、木材、衣類、本、新聞、段ボールなどの粗大ごみ及び資源ごみは、資源化センターに持って行くとなっておりますが、車のない町民は、なかなか資源化センターに行けません。

「ごみステーションに出せるようになりませんか？ また、困ったときはどうしたらよいですか？」

(匿名希望)

**A** 有料収集サービスをご利用ください

ごみステーションが設置してある場所は、広さに限度があることから、粗大ごみ及び資源ごみをごみステーションで回収するのが難しい現状となっております。

町では、高齢者や車を所有していないかたのために、有料ではあります。ご自宅までごみの収集をするために伺いする「粗大ごみ有料収集」を行っています。ご利用の際は、資源化センターに一度相談していただき、日程などを調整のうえ、引き取りにお伺いしています。



平成29年度から実施予定の広域でのごみ処理移行後のごみの分別や収集方法については、館林衛生施設組合及び関係自治体と現在調整を行っています。

今後も、町のごみ処理事業がスムーズに運営できるよう町民の皆様にはご理解、ご協力をお願いします。

問合せ 資源化センター  
 82-15371